

6 令和2年度事業の実施状況

①事業整備内訳

18施設において866セット・個の木製机・椅子等の導入が進みました。

施設所在 市町村	事業主体	導入施設名称	導入製品	導入数量 (セット・個)	森林・環境税 (千円)
各務原市	(学)小島学園	ひよし幼稚園	ロッカー 上着掛け 下足入れ 等	25	3,519
瑞穂市	(学)総純寺学園	清流みずほ認定こども園	収納棚	6	148
大垣市	(学)真徳寺学園	みつづかこども園	オープン棚 ロッカー 下足入 机・椅子セット	169	2,987
関市	関市	緑ヶ丘中学校ほか7中学校	児童用机	380	2,926
美濃加茂市	美濃加茂市	山之上小学校	学校机	35	56
土岐市	(社福)慈光福社会	ときつこども園	ロッカー 机・椅子	11	449
下呂市	下呂市	萩原小学校 萩原南中学校	木製机・椅子	140	1,294
高山市	高山市	西小学校 清見小学校 東山中学校	木製机・椅子	100	1,800
合 計		18施設		866	13,179

(その他事務費 14千円)



山之上小学校(美濃加茂市)



ときつこども園(土岐市)

②利用者の声

調査先：令和元年度にぎふの木で学校まると木製品導入事業を実施した補助事業者

調査方法：アンケート形式

調査期間：令和3年1月～令和3年2月

調査結果：利用者の方の評判、ご意見

- ・木の持つ温かみや手触りがよく、子どもたちの表情が様々であり、木ならではの楽しみ方や発見がある。
- ・高級感、安心感がある。明るい感じがする。
- ・木製品に触れることで、森林の現状や活用、製品の加工工程等を知るきっかけになる。